

表2

## これまでとの主な相違点

項目	旧	新
1.著述・著書カウント	著者数比率・掲載誌種別比率・著述内容別比率あり	著者数比率・掲載誌種別比率・著述内容別比率廃止
2.社会活動等カウント	7分類	4分類 都道府県放射線技師会の学術・研修活動を社会活動として付与

## 生涯学習カウント 別表

## アドバンスド放射線技師格取得のためのセミナー科目

科目	セミナー受講カウント	認定カウント
看護学	各15	各50
救急医療学		
医療安全学		
医療社会倫理学		

## 認定資格・臨床技術能力検定

認定資格・検定	セミナー受講カウント	認定カウント
放射線管理士	各20	各100
放射線機器管理士		
臨床実習指導教員		
医用画像情報管理士		
臨床技術能力検定1級		200
臨床技術能力検定2級		100
臨床技術能力検定3級		50
実習施設指導者 (P-METのみの認定も可)		30

## 学位

学位	認定カウント
学士号	750
修士号	1,500
博士号	3,000

修士号・博士号については、審査のうえ承認されたもの

## 著述

種別	日本放射線技師会雑誌 JART承認学会雑誌 JART承認海外学術誌	左記以外の日本学術会議協力学術研究団体の学会誌*
原著論文	筆頭著者400, 共著者20	筆頭著者200, 共著者10
研究速報	筆頭著者200, 共著者10	筆頭著者100, 共著者5
症例報告		
ノート		
資料		

\* 査読ありのものに限る。日本放射線技師会雑誌以外の掲載分については、論文別刷のほか、投稿規定を添

## 著書

種別	カウント
JART編集もしくは監修の単行書	著者・共著者とも 100
出版社からの単行書	著者・共著者とも 50

いずれも担当執筆部分が明記されていること

## 学術・研修:県で開催されるものはすべて社会活動のカウント分類になります

種別	分類	期間等	カウント
放射線技師総合学術大会 (日本放射線技師会主催)	研究発表(シンポジスト含)	1回につき	45
	座長	1回につき	15
	参加	1時間につき	1
学術研修会・講習会 (日本放射線技師会主催)	受講者	1時間につき	1
	講師	1時間につき	30
国際会議・学会*	研究発表(シンポジスト含)	1回につき	90
	座長	1回につき	30
	参加	1時間につき	2

\* 日本放射線技師会が認めたものに限る。

## 社会活動等

分類	内容	申請	カウント
1. 国民に直接かかわり社会貢献度の高いもの	・地域住民への保健医療に関する普及啓発イベント ・地域医療向上のための資質向上(地域学術・研修)活動	事後	1～5 / 件
2. 国民に間接的にかかわり社会貢献度の高いもの	・各種調査への情報提供(本会アンケート等)	なし	1～20 / 件
3. 国際協力	・海外研修生の受け入れ ・海外での支援・指導	事後	1～20 / 件
4. 委員会活動等	・日本放射線技師会の会議、委員会等への参加 ・外部公的機関の設置する委員会等への委員	事後	3 / 件 20 / 年

日本放射線技師会が主催あるいは認定したものに限り

- ・分類1については、活動時間によりカウントを決定する(2時間未満1カウント, 2時間以上5時間未満3カウント, 5時間以上5
- ・分類2については、本会独自もしくは本会が認めた調査に限る
- ・分類3日本国での受け入れについては本会が認めた研修活動に限る
- ・分類4の活動については本会の認めた会議、委員会等に限る